

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
健康相談事業	保険健康課	275回		①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、ひいては個々の健康管理に資するものである。							
平成21年度実績							
1) まちの健康相談室 実施回数(会場): 102回(市役所・保健センター・公民館等) 内容: 健康に関する相談・健診結果の説明・血圧測定・体重測定・検尿(必要時) 参加者: 延べ402人							決算額
							228千円
							実績値
							304回
2) その他の健康相談 歯周疾患健康相談・病態別健康相談・市民健康相談等 実施回数: 202回 参加者: 延べ2,774人							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
まちの健康相談室において、来所者数は、昨年度よりさらに減少し、高齢化、固定化している。若い世代が来所しやすいように夕方の健康相談を実施したが、来所者はほとんどなかった。実施方法や、回数等の見直しが必要である。 市民健康相談をがん検診や、市民が集まる機会に実施し、若い年代や、特定健診の対象とならない人への相談や血圧測定も行うことができ好評だった。 今年度は、健診後に健診結果説明会を実施した。受診者の約2割の参加ではあったが、郵送した健診結果を事前に見て来所しているため、健康に関する問題意識をもった参加が多く、効果的であった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
①効果的な健康相談の実施 ・「まちの健康相談室」の実施回数、場所等の見直し。宇和島地区では、市役所で毎月実施する。 ・各地区の状況に応じた「まちの健康相談室」や、「市民健康相談」を実施する。							予算額
②相談の機会を増やす ・がん検診時の健康相談の回数を増やす。 ・人の多く集まる機会を利用して健康相談を実施する。 ・定例の健康相談以外に、来庁、電話等による相談ができることを市民に周知する。 ・市民のニーズに合った健康相談を実施する。(出前健康相談)							256千円
							目標値
							215回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																								
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規																					
健康教育事業	保険健康課	185回		①充実	●	②継続	③新規																					
事業の概要																												
生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。																												
平成21年度実績																												
1) 集団健康教育・各種団体や健診会場等での取り組み ・メタボリックシンドロームに関する普及啓発 ・がん検診受診勧奨 ・離島での歯科教育の実施・「出前講座」の実施							決算額																					
2) その他の啓発活動 ・広報「健康づくり通信」掲載 ・がん予防ロビー展の実施(本庁ロビー)							576千円																					
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般(健康に関すること)</td> <td style="text-align: center;">74</td> <td style="text-align: center;">1,129</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">408</td> </tr> <tr> <td>骨粗鬆症(転倒予防)</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">88</td> </tr> <tr> <td>病態別(生活習慣病に関すること)</td> <td style="text-align: center;">162</td> <td style="text-align: center;">8,554</td> </tr> <tr> <td>介護予防</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">382</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">273</td> <td style="text-align: center;">10,561</td> </tr> </tbody> </table>								回数	人数	一般(健康に関すること)	74	1,129	歯周疾患	10	408	骨粗鬆症(転倒予防)	6	88	病態別(生活習慣病に関すること)	162	8,554	介護予防	21	382	合 計	273	10,561	実績値
	回数	人数																										
一般(健康に関すること)	74	1,129																										
歯周疾患	10	408																										
骨粗鬆症(転倒予防)	6	88																										
病態別(生活習慣病に関すること)	162	8,554																										
介護予防	21	382																										
合 計	273	10,561																										
							273回																					
							進捗状況																					
							4																					
事業に対する評価・課題等																												
<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームの予防については、内臓脂肪の模型や写真がインパクトが強く、受診者もよく見ていた。また、健診時ミニ教育で全員に配布するチラシの裏にヘルスアップ実践講座等の案内を一緒に掲載することで、参加者を募ることが出来た。 ・特定健診や結果説明会後の教室では、参加者の関心も高く、受講者が増加した。生活改善に対する意識も高く目的を持って参加しており、対象者の関心が強いときにタイムリーに受講できる計画を立てることが効果的であると考えられる。 ・がん予防については、婦人がん検診の時に、子宮がんの原因であるヒトパピローマウイルスが20歳代の女性に多く感染していることを伝えることで、親子や家族で検診を受ける習慣づくりが少しずつ広まっている。 																												
男女共同参画の視点での評価																												
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4																					
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5																					
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5																					
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5																					
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5																					
平成22年度予定																												
<ul style="list-style-type: none"> ・本庁ロビーにて、多くの市民に健康への関心を持ってもらえるようロビー展を実施する。 ・特定健診や健診結果説明会の後に継続参加できるように実施日を設定する。 ・健康教育で習得した知識や体験を自宅でも継続的に取り組んだり、習慣化できるような内容にする。 ・出前講座の継続実施、内容の充実を図る。 ・地域で活動している食生活改善推進協議会や、公民館等各種団体からの依頼による健康教育時に、団体の目的としているものに加え、対象者の年齢層などを考慮し、保健師や栄養士が伝えたいことも盛り込んだ内容にし、相乗効果を狙う。 							予算額																					
							599千円																					
							目標値																					
							223回																					

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
特定保健指導の推進	保険健康課	27%	45%	①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
<p>内臓脂肪型肥満に着目した特定健診の結果から、階層化を行い、生活習慣改善の必要性に応じて「情報提供」、「動機付け支援」、「積極的支援」に分け、特定保健指導を行うものである。</p> <p>特定保健指導は内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣病を改善することを目的に、「動機付け支援」、「積極的支援」の対象者と共に、自らの生活習慣を振り返り、生活改善目標を設定し、実践(行動)に取り組むことができるよう、またセルフケア(自己管理)ができるよう支援するものである。</p>							
平成21年度実績							
<p>特定保健指導</p> <p>動機付け支援 対象者 343名 初回面接実施者 198名 実施率 57.7% (年度内終了者 35名)</p> <p>積極的支援 対象者 200名 初回面接実施者 94名 実施率 47.0% (年度内終了者 18名)</p> <p>特定保健指導受診者の改善状況(積極的支援から動機付け支援、動機付け支援から対象外になったもの)</p> <p>平成20年度特定保健指導受診者 積極的支援 改善者 35人(39.7%)</p> <p>動機付け支援 改善者 72人(37.7%)</p>							決算額
							581千円
							実績値
							53.80%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<p>初回面接の受診者は、昨年より低下している。性別で見ると、積極的支援対象者の出現率の高い男性の保健指導実施率が低い状況である。</p> <p>毎年、特定保健指導に該当する方は、受講する意識が低くなっているため、初回面接の受診率が引くなっている。特定保健指導のアプローチ、実施方法について考えていく必要がある。</p> <p>積極的支援では初回面接後に、2回以上の面接などの継続支援が必要となるため、忙しいなどを理由により中断する人が昨年度13%あった。そのため、面接の時間がとりにくい方には、通信を利用して、生活状況を確認し、継続して支援している。</p> <p>市独自の指導用冊子を作成したことで、利用者が保健指導後も振り返り、目標の継続に活用してもらうことができた。(記録版・運動版)</p> <p>特定保健指導の受診者の改善状況では、約3割の人が改善、約5割の方が変化なしで状態の悪化や進行予防に特定保健指導の効果が見られた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成22年度予定							
<p>・特定保健指導の効果・事例や、特定保健指導を受けてのアンケート結果をちらしにし、特定健診時に行なう健康教育や、広報等でPRする。</p> <p>・初回面接時に継続支援は面接または通信にて支援できることや、中間、評価に対しては、夕方にも実施できることなどを説明する。また、各教室や、まちの健康相談等を案内し、対象者自身に、受けやすい方法を選択してもらい、継続支援を受けやすくする。</p> <p>・効果的な指導を実施するため、指導用教材「栄養版」の冊子を作成する。</p>							予算額
							604千円
							目標値
							60.0%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
健康教育事業	保険健康課	10回		①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
体験型健康教育を通して、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図る							
平成21年度実績							
①バランス食講座 参加者：延べ49人 会場(開催回数)：宇和島保健センター(2回)、吉田公民館(1回)、三間保健福祉センター(1回)、津島保健センター(1回) 内容：「自分の食事を振り返る、食事バランスガイド、主食・主菜・副菜の量を知る」 ②コレステすっきり教室 参加者：17人 会場(開催回数)：宇和島保健センター(1回) 内容：「脂質異常症、LDLとは？、食事とコレステロールの関係」 ③ヘルシーウォーキング 参加者：延べ46人 会場(開催回数)：総合福祉センター(5回)、吉田公民館(2回)、三間保健福祉センター(3回)、津島各公民館(3回) 内容：「正しいウォーキングの実践、ストレッチ」							決算額
							24千円
							実績値
							19回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・「バランス食講座」では広報を見て参加したという人が少なかった。「コレステすっきり教室」では比較的、広報による参加が多かった。「バランス食」という内容は広すぎてわかりにくいいため、魅力を感じにくいのではないかと考えられる。ポイントをしぼった内容で、講座の名称もわかりやすいものにする必要がある。 ・「コレステすっきり教室」では、基本的なことはすでに理解されていた方もおり、内容の検討が必要である。 ・実際に食材を見て、触れる体験型の方が実感がわき、印象に残りやすいので効果があると考えられる。 ・ヘルシーウォーキングでは、ウォーキングの基礎だけでなく、家庭でできる筋トレや、雨の日などの家での過ごし方なども内容に盛り込んでほしいという意見が多く聞かれた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・脂質異常症と血圧に関する食生活改善の講座をポピュレーションアプローチの講座として設定する。 ・LDLコレステロールの講座を2回コースとし、詳しい内容を勉強できる場として提供する。 ・自宅のできる筋トレの方法や、ウォーキングができないときに自宅のできる運動を、内容に取り入れる。 ・宇和島地区は、運動編と栄養編を隔月の日曜日開催とし、特定健診等の後に継続参加できるように設定する。 ・継続実施できるよう、ウォーキングマップを作成する。 							予算額
							108千円
							目標値
							20回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)	14回		①充実		●	③新規	
事業の概要								
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行うもの。								
平成21年度実績								
実施回数 27回。(夜間糖尿病教室1回。調理実習5回含む。) 延べ参加者数454名(入院患者61名、外来患者393名)								決算額
								—
								実績値
								27回
								進捗状況
								5
<p>○定期的に開催しており、また開催時には随時院内放送も実施していることから患者にも広く浸透し、糖尿病予防に対する意識啓発を図ることができた。</p> <p>○毎回、参加者の血糖値を測定するとともに、自己血糖測定器の点検を行っており、糖尿病またはその予備群の患者を中心として病態の把握や自己管理指導を行うことができた。</p> <p>○糖尿病または糖尿病が原因となって引き起こす疾病についての基礎知識や治療法について、糖尿病専門医が講義を行うほか、食事、運動、薬物などによる療法に関して、栄養士、理学療法士、薬剤師など各専門分野から糖尿病療養指導士のスタッフが指導を行うことにより、日常的な実践につながる情報を提供することができた。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成22年度予定								
今後も定期的を実施。 患者会(パール会)活動を通して、世界糖尿病デー(11/14)のイベントも実施予定。								予算額
								—
								目標値
								—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)	10回		①充実		●	③新規	
事業の概要								
<p>入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防につなげるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行うもの。</p>								
平成21年度実績								
								決算額
								-
実施回数12回 延べ参加者数 200名(入院患者34名、外来患者166名)								実績値
								12回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
<p>○定期的に開催しており、また開催時には院内放送も実施していることから患者にも広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発を図ることができた。</p> <p>○重篤な心臓病を引き起こす要因となる高血圧や不整脈に関する基礎知識、心臓病を発病した場合の治療法など、毎回テーマに沿って、循環器内科医師または薬剤師による講義を実施するとともに、病態に応じたまたは予防のための食事療法について栄養士が指導を行うことで、日常的な実践につながる情報を提供することができた。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成22年度予定								
								予算額
月1回実施予定。								-
								目標値
								月1回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[3] 壮年期からの健康づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
健康相談事業	保険健康課			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>(心の健康相談)</p> <p>心の健康に関する個別の相談に対し、相談窓口の周知を行い、必要な助言及び情報提供等を行うことにより、個々のもつ悩み等を軽減していくよう支援することを目的として実施するものである。</p> <p>相談内容には、受療にあたっての相談や社会復帰のための相談等も含まれ、年6回精神科スタッフの協力を得て、個々のケースに対応している。</p>							
平成21年度実績							
<p><実施場所> 宇和島市障害者福祉センター むつみ荘</p> <p><日程・スタッフ> 毎月第1水曜日;年12回 予約制 保健師 *偶数月午後のみ精神科スタッフ従事</p> <p><利用者状況> 実人員 13人 延人員 17人</p>							決算額
							67千円
							実績値
							12回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>・相談内容として、うつ病に関するものをはじめ多岐にわたっており、年齢も思春期から高齢期まで幅広い。</p> <p>・市民が活用しやすい相談窓口として周知強化したことにより、利用ニーズも高まっている。精神科医師の相談が多いが、相談・受診等適切なルートにつなぐよう保健師の判断も重要となっている。</p> <p>・うつのサインに関する知識の普及が引き続き必要と思われる。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成22年度予定							
<p><周知方法></p> <p>・各年代に沿った相談窓口周知のためのパンフレット作成</p> <p>・医療機関、公民館、民生委員、学校、各種相談窓口(行政)等への案内ちらし配布やポスター掲示依頼</p> <p>* 定例相談回数及びスタッフについては、H21年度同様</p> <p>* 各種相談窓口と連携し、フォローが必要なケースに対応する</p>							予算額
							82千円
							目標値
							12回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
心の健康づくり事業(年に数回の公演、精神科医師による相談(予約制))	保険健康課			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>(心の健康づくり講演会) 壮年期の自殺者が増加する中、自殺企図者の約半数近くに見られる「うつ病」への対策として、H19年度から取り組んでいる健康教育事業である。専門医による講演会を開催することにより、「うつ病」に関する正しい知識の普及・気軽に相談や受診ができる体制づくりとともに、広く市民の心の健康づくりへの意識高揚を図ることを目的とする。</p>							
平成21年度実績							
テーマ 身近な「うつ」を見逃さないために ～うつ病の症状・治療・予防について～ 講師：財団法人 正光会宇和島病院 渡部 亜矢子医師						決算額 20千円	
日時 平成21年7月5日(日) 午後1時30分～3時30分 会場 宇和島市役所 2階大会議室 参加者 114人						実績値 1回	
						進捗状況 4	
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・働き盛り年代の参加勧奨のため、各種団体に出向き講演会周知とともに実施可能な団体で健康教育を実施した結果、壮年期の参加者が約7割を占めた。 ・うつ病の自己チェックを盛り込んだ内容が好評。受講後、受診を希望する人もあり、身近な専門医の講演が受診への抵抗感を軽減したと思われる。 ・市中央での講演だけでなく、今後は地域への知識普及・浸透が課題である。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成22年度予定							
<<心の健康づくり教育事業の推進>> * 年間計画に基づき、地域に出向いた教育を実施する ①各種関係団体と連携した教育 … 宇和島市食生活改善推進協議会、母子愛育会、男性料理教室生等 ②出前講座『こころのリフレッシュ講座』 ③“こころの健康”パネル展の実施等						予算額 20千円	
						目標値 1回	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
健康教育事業	保険健康課			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
(男性版ヘルスアップ実践講座) 体験型健康教育を通して、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図ることを目的とし、特に男性をターゲットとした運動・栄養の講座を開催しようとするものである。							
平成21年度実績							
1) 栄養編 平成21年7月6日 会場：宇和島保健センター 男性参加者 13人 内容：「自分の食事を振り返る・食事バランスガイド・アルコールの上手な飲み方」 2) 運動編 ①ヘルシーウォーキング 平成21年11月19日 会場：総合福祉センター 男性参加者 1人 内容：「正しいウォーキングの実践、ストレッチ」 ②筋トレ体験教室 平成21年9月4日・18日 会場：吉田ふれあい運動公園 男性参加者 延16人 内容：「トレーニング機器を利用した筋トレ・家庭でできる筋トレ」							決算額
							25千円
							実績値
							4回
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
参加対象を男性に限定した講座を開催したが、参加者が少なかった。 特に、「ヘルシーウォーキング」は、男性版の日程の参加は一人であった。しかし、休日の開催には夫婦での参加もあり、男性に限定するより、夫婦での参加を勧める方が効果があると考え。 「筋トレ体験教室」では、夜間の開催であったが、農繁期の時期と重なり参加できなかった人が多かった。参加者は、機器に触れることが少ないことから、目的を持って参加し、満足度も高かった。また、継続実施を望む声も多く聞かれた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成22年度予定							
参加しやすい時期を検討し、参加者を増やす。(農繁期と重ならないようにする。休日実施等) 教室だけの実施だけでなく、機器が無くても、継続実施できるよう、家庭でできる筋トレの内容を入れる。 男性版の日程だけでなく、他の日程でも夫婦で参加するよう勧奨していく。							予算額
							25千円
							目標値
							4回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
健康教育事業	保険健康課	3回		①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>(楽しく卒煙講座) グループワークを中心に、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、特に禁煙の意識づけと定着化を図ることを目的とする。</p>							
平成21年度実績							
会場：宇和島保健センター 参加者：H21年度新規参加者(実) 4人 H20年度からの継続参加者(実) 3人 (内1人は、禁煙体験者として参加)						決算額	
						実績値	0千円
						進捗状況	3回
						進捗状況	2
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・広く参加者を募集するため、市内のドラッグストアの禁煙グッズコーナーにチラシを置いたが、年1回の講座の実施で、平日でもあることから参加数が少なかった。本人が「禁煙を決意した日」から禁煙を開始できる個別へのアプローチも必要であるとする。 ・継続参加者にも参加してもらい、禁煙した時のつらさや、禁煙中の吸いたい気持ちのコントロールの方法などを、体験を交えて話してもらった。新規参加者は、継続参加者へ質問したり、自分の今までの体験を話したりなど、活発な意見交換ができた。しかし、新規参加者の中で3か月以上の禁煙継続ができたものはいなかった。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・職域や地域の仲間で取り組めるよう、集団効果を狙った「出前講座」を実施する。 ・禁煙しようと思ったときから、取り込めるよう、希望者には、個別での禁煙支援を行う。 						予算額	
						目標値	25千円
						目標値	3回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 喫煙や飲酒について、その健康被害に関する正確な情報の提供に努める。 ○ 未成年者の喫煙、飲酒について、家庭・学校・地域が一体となってその予防の促進推進。 ○ 職場や公共の場所における受動喫煙防止対策の普及促進の充実。 							
平成21年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校82% 中学校85% ○ 喫煙・飲酒と健康について「保健」「特別活動」に位置づけ授業で指導している。 ○ 敷地内全面禁煙としている。 ○ 参観日に学校薬剤師を招き、保護者、全校児童を対象に薬物乱用防止教室を実施。 ○ 公共施設でのマナーについての学習。 ○ 体育科において、喫煙・飲酒の害について指導。 ○ PTA・健全育成協議会を通して飲酒・喫煙の禁止の働きかけ。 ○ 禁煙教室・薬物禁止教室を開き、健康な生活ができるように予防の促進を図った。 							決算額
							—
							実績値
							83%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい知識の定着につながっている。 ○ 家庭との連携の強化が必要である。 ○ 敷地内禁煙は、運動会や地域の行事の中で徹底することが難しい。 ○ 子どもの手の届かないところへ保管するよう保護者に啓発が必要。 ○ 禁煙や薬物防止についての学習を通して、健康の増進に努めることができた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校保健委員会で高学年児童・保護者・学校保健委員会を対象に薬物乱用防止について講演。 ○ 公共施設でのマナーについての学習。 ○ 来校者・教職員の敷地内禁煙の徹底。 ○ 喫煙・飲酒の健康被害についての学習。 							予算額
							—
							目標値
							100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課	10館	30館	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
不特定多数の住民が利用する公民館において、受動喫煙防止対策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を目指す。								
平成21年度実績								
5館増えて、合計15館							決算額	
							0千円	
							実績値	
							15館	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
市が管理している公民館は、市の方針として実施できるが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-	
平成22年度予定								
5館増の合計20館							予算額	
							0千円	
							目標値	
							20館	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
敷地内禁煙の実施(施設内禁煙からの充実)	病院局	1施設	2施設	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
<p>受動喫煙の防止対策を図るため、施設内部の禁煙だけでなく、病院敷地における全面禁煙を目指すもの。平成20年10月に宇和島病院が施設内禁煙を実施し、吉田病院と併せて2施設となった。津島病院については、施設内及び敷地内における指定場所での喫煙を可としている。</p>								
平成21年度実績								
宇和島病院、吉田病院において、継続し、敷地内禁煙の実施。								決算額
								—
								実績値
								2施設
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
津島病院においても、喫煙室を廃止し、今後敷地内禁煙を目指す。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成22年度予定								
○敷地内禁煙の継続。(宇和島病院、吉田病院)								予算額
								—
								目標値
								—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
喫煙室(入所者向け)の設置	介護老人保健施設(病院局)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
受動喫煙防止対策を図るため、入所者用の喫煙室を設置するもの。							
平成21年度実績							
2施設とも、従来より設置されている喫煙室(入所者向け)を継続利用。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
喫煙室を利用する際に、マナーが守られないケースがある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成22年度予定							
喫煙室に於ける通所利用者と入所者の喫煙マナーの指導。(受動喫煙防止と火災予防の観点から)							予算額
							-
							目標値
							-

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																															
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規																																												
母親学級・両親学級	保険健康課	7コース		①充実	●	②継続	③新規																																												
事業の概要																																																			
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。																																																			
平成21年度実績																																																			
【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) 【マタニティスクール】 宇和島市に居住地を有する妊婦 【パパママスクール・マタニティクッキング】 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所・回数) 宇和島保健センター(年3回コース) 三間保健福祉センター(年2回コース) (内容)							決算額																																												
							0千円																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内 容</th> <th>マタニティスクール</th> <th>マタニティクッキング</th> <th colspan="2">パパママスクール</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①自己紹介</td> <td></td> <td>①妊娠中の栄養に</td> <td>①自己紹介</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②妊娠中の生活</td> <td></td> <td>についての講義</td> <td>②妊娠中と産後のからだの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③妊娠中の歯の手入れ</td> <td></td> <td>②調理実習</td> <td>変化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④出産への心がまえ</td> <td></td> <td>③試食</td> <td>③お父さんの妊婦体験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤座談会</td> <td></td> <td></td> <td>④赤ちゃんのお風呂の入</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>れ方(沐浴実習)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>⑤家族計画について</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							内 容	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール						①自己紹介		①妊娠中の栄養に	①自己紹介		②妊娠中の生活		についての講義	②妊娠中と産後のからだの		③妊娠中の歯の手入れ		②調理実習	変化		④出産への心がまえ		③試食	③お父さんの妊婦体験		⑤座談会			④赤ちゃんのお風呂の入					れ方(沐浴実習)					⑤家族計画について		実績値
内 容	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール																																																
①自己紹介		①妊娠中の栄養に	①自己紹介																																																
②妊娠中の生活		についての講義	②妊娠中と産後のからだの																																																
③妊娠中の歯の手入れ		②調理実習	変化																																																
④出産への心がまえ		③試食	③お父さんの妊婦体験																																																
⑤座談会			④赤ちゃんのお風呂の入																																																
			れ方(沐浴実習)																																																
			⑤家族計画について																																																
							5コース																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>マタニティ</th> <th colspan="2">マタニティクッキング</th> <th colspan="2">パパママスクール</th> </tr> <tr> <th>スクール</th> <th>全数</th> <th>(再掲)夫</th> <th>全数</th> <th>(再掲)夫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>5</td> <td>79</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>26</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>6</td> <td>105</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>								マタニティ	マタニティクッキング		パパママスクール		スクール	全数	(再掲)夫	全数	(再掲)夫	宇和島地区	25	27	5	79	38	三間地区	2	4	1	26	13	計	27	31	6	105	51	進捗状況															
	マタニティ	マタニティクッキング		パパママスクール																																															
	スクール	全数	(再掲)夫	全数	(再掲)夫																																														
宇和島地区	25	27	5	79	38																																														
三間地区	2	4	1	26	13																																														
計	27	31	6	105	51																																														
							4																																												
事業に対する評価・課題等																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・パパママスクールで他の教室への参加を呼びかけたことにより、全スクールの参加率が向上したと思われる。 ・妊娠の経過や出産準備、育児に関する知識の向上を図った。 																																																			
男女共同参画の視点での評価																																																			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4																																												
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4																																												
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4																																												
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4																																												
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3																																												
平成22年度予定																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティクッキングについて夫の参加が多かった日曜日開催分の日数を1回から2回に増やす。 							予算額																																												
							0千円																																												
							目標値																																												
							5コース																																												

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																																			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規																																																
妊産婦相談	保険健康課	60回		①充実	●	②継続	③新規																																																
事業の概要																																																							
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。																																																							
平成21年度実績																																																							
(対象) 宇和島市に住民登録をしている妊産婦 (場所・回数) 【定例妊産婦相談】 宇和島保健センター、吉田公民館、 三間保健福祉センター、津島保健センター 各12回/年 ※育児相談と同時開催 【随時妊産婦相談】・集会所や公民館、 電話等において随時実施。 (内容) 個々の妊産婦に応じた相談 (従事者) 保健師・栄養士						決算額																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>妊婦</th> <th>回数</th> <th>相談者数(実)</th> <th>相談者数(区)</th> <th>産婦</th> <th>回数</th> <th>相談者数(実)</th> <th>相談者数(区)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>宇和島地区</td> <td>12</td> <td>74</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>吉田地区</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>吉田地区</td> <td>12</td> <td>62</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>15</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>三間地区</td> <td>12</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>津島地区</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>津島地区</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>20</td> <td>29</td> <td>計</td> <td>48</td> <td>172</td> <td>436</td> </tr> </tbody> </table>						妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(区)	産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(区)	宇和島地区	12	6	10	宇和島地区	12	74	207	吉田地区	12	5	9	吉田地区	12	62	193	三間地区	15	6	6	三間地区	12	36	36	津島地区	12	3	4	津島地区	12	0	0	計	51	20	29	計	48	172	436	0千円	
妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(区)	産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(区)																																																
宇和島地区	12	6	10	宇和島地区	12	74	207																																																
吉田地区	12	5	9	吉田地区	12	62	193																																																
三間地区	15	6	6	三間地区	12	36	36																																																
津島地区	12	3	4	津島地区	12	0	0																																																
計	51	20	29	計	48	172	436																																																
						実績値																																																	
						48回																																																	
						進捗状況																																																	
						—																																																	
事業に対する評価・課題等																																																							
・H21年度からは、育児相談と同日開催の妊婦相談として相談回数も各12回実施した。そのため、産婦相談は昨年より増加しているが、ちらしを見ての参加は少ない。妊婦相談も健康手帳交付時の相談が主であり、定例日相談者は少ない。																																																							
男女共同参画の視点での評価																																																							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						—																																																	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—																																																	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						—																																																	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						—																																																	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—																																																	
平成22年度予定																																																							
・母子健康手帳交付時に妊婦相談を勧奨する。						予算額																																																	
						0千円																																																	
						目標値																																																	
						48回																																																	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																		
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規																														
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	2回/人	514回/人	①充実	●	②継続		③新規																														
事業の概要																																						
母子保健法の規定により、妊娠中の女性の健康の保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または、一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。																																						
平成21年度実績																																						
<p>・平成19年度まで、妊娠前期、後期の2回について公費負担を実施していたが平成20年度から、妊娠期を通して公費負担回数を5回に加えて9回計14回(一人当たり公費負担58,710円)に拡充して実施。</p> <p>・県外里帰り出産についても公費負担で対応。利用の仕方等を説明すると共に受診勧奨を実施。</p> <p>・妊婦一般健康診査受診票に朝食の摂取状況、喫煙状況の質問項目を設け、必要な支援を行う。</p> <p>・受診票の表紙にマタニティマークを掲載し、妊婦への周知を行なう。</p>							決算額																															
<p>①5枚綴り分交付数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全地区</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>612</td><td>98.4</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>619</td><td>80</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>523</td><td>89.8</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>629</td><td>84.5</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>634</td><td>82.1</td></tr> </tbody> </table>								全地区	受診率	1回目	612	98.4	2回目	619	80	3回目	523	89.8	4回目	629	84.5	5回目	634	82.1	27,690千円													
	全地区	受診率																																				
1回目	612	98.4																																				
2回目	619	80																																				
3回目	523	89.8																																				
4回目	629	84.5																																				
5回目	634	82.1																																				
<p>②9枚綴り分交付数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全地区</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>638</td><td>100</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>648</td><td>100</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>650</td><td>100</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>653</td><td>100</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>657</td><td>95</td></tr> <tr><td>6回目</td><td>660</td><td>80.7</td></tr> <tr><td>7回目</td><td>661</td><td>58.4</td></tr> <tr><td>8回目</td><td>662</td><td>39.5</td></tr> <tr><td>9回目</td><td>663</td><td>23.8</td></tr> </tbody> </table>								全地区	受診率	1回目	638	100	2回目	648	100	3回目	650	100	4回目	653	100	5回目	657	95	6回目	660	80.7	7回目	661	58.4	8回目	662	39.5	9回目	663	23.8	実績値	
	全地区	受診率																																				
1回目	638	100																																				
2回目	648	100																																				
3回目	650	100																																				
4回目	653	100																																				
5回目	657	95																																				
6回目	660	80.7																																				
7回目	661	58.4																																				
8回目	662	39.5																																				
9回目	663	23.8																																				
							80.9%																															
							進捗状況																															
							3																															
事業に対する評価・課題等																																						
<p>・ほとんどの妊婦が定期的に妊婦健診を受診しており、経済的な負担を減らすことで適切な受診につながっていると思われる。</p> <p>・今年度は9回分受診票の追加交付を実施したため、交付した受診票全てが必要でなかったこと、8回目以降は出産して未使用のためか受診率は40%をきっている。</p> <p>・14回の受診票は徐々に浸透しつつある。この拡充により、妊婦にとってよりよいサービスの提供が出来ているが、国の補助事業であるため、継続については担保できない状況であることと、定められた検査以外の検査については、妊婦本人の負担となることが課題としてあげられる。</p>																																						
男女共同参画の視点での評価																																						
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-																															
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-																															
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-																															
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-																															
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-																															
平成22年度予定																																						
<p>・5回分、9回分の受診票共に、利用の仕方等の説明を行い、適切な時期に利用できるよう支援する。</p> <p>・県外里帰り出産についても、母子健康手帳交付児に説明し、スムーズに助成金の申請ができるよう配慮する。</p>							予算額																															
							33,000千円																															
							目標値																															
							100%																															

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
母親学級・両親学級	保険健康課	7コース		①充実	●	②継続	③新規

事業の概要

妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。

平成21年度実績

【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) 〔マタニティスクール〕 宇和島市に居住地を有する妊婦 〔パパママスクール・マタニティクッキング〕 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者				決算額																								
(場所・回数) 宇和島保健センター(年3回コース) 三間保健福祉センター(年2回コース)				0千円																								
(内容)				実績値																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>マタニティスクール</th> <th>マタニティクッキング</th> <th>パパママスクール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>					マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール	宇和島地区	25	27	5	三間地区	2	4	1	計	27	31	6	5コース								
	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール																									
宇和島地区	25	27	5																									
三間地区	2	4	1																									
計	27	31	6																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>マタニティスクール</th> <th>マタニティクッキング</th> <th>パパママスクール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①自己紹介</td> <td></td> <td>①妊娠中の栄養について</td> <td>①自己紹介</td> </tr> <tr> <td>②妊娠中の生活</td> <td></td> <td>②調理実習</td> <td>②妊娠中と産後のからだの変化</td> </tr> <tr> <td>③妊娠中の歯の手入れ</td> <td></td> <td>③試食</td> <td>③お父さんの妊婦体験</td> </tr> <tr> <td>④出産への心がまえ</td> <td></td> <td></td> <td>④赤ちゃんのお風呂の入れ方(沐浴実習)</td> </tr> <tr> <td>⑤座談会</td> <td></td> <td></td> <td>⑤家族計画について</td> </tr> </tbody> </table>				内容	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール	①自己紹介		①妊娠中の栄養について	①自己紹介	②妊娠中の生活		②調理実習	②妊娠中と産後のからだの変化	③妊娠中の歯の手入れ		③試食	③お父さんの妊婦体験	④出産への心がまえ			④赤ちゃんのお風呂の入れ方(沐浴実習)	⑤座談会			⑤家族計画について	進捗状況
内容	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール																									
①自己紹介		①妊娠中の栄養について	①自己紹介																									
②妊娠中の生活		②調理実習	②妊娠中と産後のからだの変化																									
③妊娠中の歯の手入れ		③試食	③お父さんの妊婦体験																									
④出産への心がまえ			④赤ちゃんのお風呂の入れ方(沐浴実習)																									
⑤座談会			⑤家族計画について																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>マタニティスクール</th> <th>マタニティクッキング</th> <th>パパママスクール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>					マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール	宇和島地区	25	27	5	三間地区	2	4	1	計	27	31	6	4								
	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール																									
宇和島地区	25	27	5																									
三間地区	2	4	1																									
計	27	31	6																									

事業に対する評価・課題等

- ・パパママスクールで他の教室への参加を呼びかけたことにより、全スクールの参加率が向上したと思われる。
- ・マタニティクッキングについて夫の参加が多かった日曜日開催分の日数を1回から2回に増やす。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成22年度予定

・三間支所実施分は、勤労妊婦の増加により、「マタニティスクールとマタニティクッキングの参加者が少なくなったため、22年度よりパパママスクール(夜間開催)のみの実施とした。		予算額
・津島支所からは宇和島保健センターへの参加が定着してきているため中止した。		0千円
・学級受講後の「夫の喫煙行動」、「夫の育児の協力」、「参加者同士の交流」について学級受講者アンケートを実施する。		目標値
		5コース

かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規	
妊産婦相談	保険健康課	60回		①充実	●	②継続	③新規	
事業の概要								
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。								
平成21年度実績								
(対象) (場所・回数)	宇和島市に住民登録をしている妊産婦 〔定例妊産婦相談〕 宇和島保健センター、吉田公民館、 三間保健福祉センター、津島保健センター 各12回/年 ※育児相談と同時開催	妊婦		産婦		決算額		
		回数	相談者数(実)	相談者数(延)	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	0千円
		12	6	10	宇和島地区	12	74	207
		12	5	9	吉田地区	12	62	193
		15	6	6	三間地区	12	36	36
		12	3	4	津島地区	12	0	0
		計	51	20	計	48	172	436
								実績値
								48回
								進捗状況
								—
事業に対する評価・課題等								
・H21年度からは、育児相談と同日開催の妊婦相談として相談回数も各12回実施した。そのため、産婦相談は昨年より増加しているが、ちらしを見ての参加は少ない。妊婦相談も健康手帳交付時の相談が主であり、定例日相談者は少ない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成22年度予定								
・母子健康手帳交付時に妊婦相談を勧奨する。							予算額	
							0千円	
							目標値	
							—	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
母子健康手帳の交付事業	保険健康課	617人		①充実		●	③新規
事業の概要							
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。							
平成21年度実績							
(対象)	宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦						決算額
(場所)	本庁及び支所窓口にて、交付						94千円
(内容)	母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明						実績値
(従事者)	保健師						605人
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産、育児に関して不安のある妊婦がやや増加傾向にあるため、不安軽減のための対策が必要である。 ・妊娠中の喫煙や受動喫煙による胎児や妊婦への影響を伝え、よりいっそう禁煙を進める必要がある。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成22年度予定							
胎児への影響(低出生体重児の予防)を含め、禁煙を推進する。							予算額
禁煙の具体的な情報提供を行なう。							98千円
							目標値
							—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
安産教室	病院局 (宇和島病院)	33回		①充実		●	③新規
事業の概要							
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。							
平成21年度実績							
毎月第1、第3、第4水曜日に実施。(第1水曜日は栄養指導)							決算額
【栄養指導分】 実施回数 8回 延べ参加者数 32名(外来患者)							-
【一般分】 実施回数 21回 延べ参加者数 195名							実績値
							29回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
○定期的に開催しており、また該当者には検診時に案内していることから、初産の方でも気軽に参加することができる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成22年度予定							
引き続き月3回程度実施予定							予算額
							-
							目標値
							月3回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
育児学級	病院局 (宇和島病院)			①充実		●	③新規
事業の概要							
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。							
平成21年度実績							
毎月第2水曜日に実施。 実施回数 6回 延べ参加者数 18名							決算額
							—
							実績値
							6回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
定期的に開催しており、また該当者には、検診時に案内しているが、参加者が少ない。							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成22年度予定							
引き続き月1回程度実施予定							予算額
							—
							目標値
							月1回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
カンガルー学級(母乳育児支援学級)	病院局 (吉田病院)			①充実		●	③新規
事業の概要							
母乳育児についての相談、座談会を実施するもの。							
平成21年度実績							
平成19年度は2か月に1回実施していたが、20年度以降は実施していない。							決算額
							—
							実績値
							0
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
○常勤産婦人科医不在(平成21年度分娩件数 … 0件) ○助産師の不足 上記により、当学級は現在開催していない。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成22年度予定							
開催予定なし。							予算額
							—
							目標値
							—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[8] 生涯スポーツの推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	廃止	③新規
総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課 [スポ振興]						
事業の概要							
年齢や体力に応じた様々な運動やスポーツに「いつでも、どこでも、だれもが」親しむことのできる環境を整備し、市民の健康の維持・増進を目指す総合型スポーツクラブの宇和島AITANスポーツクラブを助長しようとするものである。							
平成21年度実績							
平成21年度より、愛媛女子短期大学が主導するクラブとなり、行政組織並びに市体育協会は組織から離れる。 (平成21年度 廃止)							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
—							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成22年度予定							
平成21年度より、廃止							予算額
							—
							目標値
							—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV／エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
HIV／エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>国内のHIV感染者・エイズ患者の新規報告数は、平成16年に1,000件を突破した後、毎年1,000件を超える状態が続いている。20年は1,557人と過去最高となり、21年は1,428人(速報値)と前年からは減少したが、依然高い値を示している。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するなど、感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。</p>							
平成21年度実績							
<p>愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「愛媛エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。</p>							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
<p>県内の患者・感染者の発生は、平成11年までに毎年1～3件であったが、12～15年は7～8人とほぼ横ばいで推移、16～17年は5人と若干減少、18年は7人と再び増加、19年は11人と過去最高となった。21年は2件と大きく減少したが、引き続き予断を許さない状況といえる。このような状況から、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。</p> <p>市においては、現在のところ、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知および、正しい知識の啓発活動における協力が中心である。引き続きの協力体制を継続するとともに、市広報誌・ホームページ等を活用した、積極的な普及・啓発活動が求められる。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成22年度予定							
前年度と同様							予算額
							0千円
							目標値
							-

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV／エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	82%	100%	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ○ HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識や相談・検査体制について広報紙や情報紙等で普及・啓発の促進。 ○ 学校での児童生徒が発達段階に応じた正しい知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進について。 							
平成21年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校80% 中学校85% ○ 「保健」「特別活動」に位置づけ授業で指導した。 ○ 発達段階に応じた指導。 ○ 児童用図書でエイズ関係の本を保健室に置くなどして、児童が興味を持って学習できるようにしている。 ○ 人権教育の視点では、「一人一人を尊重し、あらゆる偏見や差別は許されない」児童を育てるように努めた。 ○ 全校生徒を対象にした性教育講演会を実施した。 ○ 世界エイズデー及びその習慣において、保健委員会による集会や展示物、保健だより等による啓発活動を行った。 							決算額
							—
							実績値
							78%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい知識の定着につながっている ○ 保護者への啓発や連携が課題である ○ 小学校段階で身に付けておくべき知識は指導した ○ 自分自身の問題としてとらえ、正しい知識を身に付け、共に助け合って生きる必要がある ○ 保護者の認識については、把握しづらい 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 血液の扱い方についての指導 ○ 性に関する保健指導・保健学習の充実 ○ 世界エイズデー及びその習慣において、保健委員会による集会や掲示物、保健だより等による啓発活動を行う 							予算額
							—
							目標値
							100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[2] 発達段階に応じた生命と人権を大切にする性教育の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	91%	100%	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 性と生殖に関し健康であることの重要性について、発達段階に応じて男女ともに正確な知識を持ち、自ら健康管理を行うことができるようにする。 ○ 生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき、自分自身を大切に、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるような性教育の推進。 ○ 学校においては学習指導要領にのっとり、児童生徒の発達段階を踏まえる。 ○ 保護者や市民の理解を得ながら、行き過ぎた内容と成らないよう適切に指導を行う。 ○ 家庭においても性と生命について適切な教育が行えるよう機会をとらえて広報・啓発の推進をおこなう。 							
平成21年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校85% 中学校85% ○ 「理科」「保健」「特別活動」に位置づけ授業で指導した。 ○ 年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。 ○ 保健だよりにより、心身ともに健康な生活への意識向上を図った。 ○ 児童の実態に応じた「基本的な生活習慣」の徹底を行った。 ○ 生命誕生のしくみを知り、一人一人がかげがえのない存在であることを理解させるよう努めた。 ○ 大学教授を迎え、思春期教室を開催した。 							決算額
							—
							実績値
							83%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階を考慮したり、保護者との連携を図ったりしながら指導要領に沿った内容を指導することが課題である。 ○ 自分たちの体や生命の誕生について、正しい知識を学び、意欲的に学習することができた。 ○ 発達段階に応じて、生命尊重・人格尊重等について各教科で学習ができた。 ○ 間違った情報や過度の情報に惑わされることのないように自分で正しい判断が出来るように指導をしなければならない。 ○ 講演を保護者にも公開し、親子で理解を深めることができた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 参観日における性教育の授業公開。 ○ 各学年、性に関する指導を計画的に取組む。 ○ 養護教諭と学級担任によるTT授業や、保健集会を計画的に実施する。 ○ 学校だより・保健だよりで啓発。 							予算額
							—
							目標値
							100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	13.8%	65%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							

糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とし、内臓脂肪症候群に着目し、この該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を要する者を的確に抽出するための健診を行う。

平成21年度実績							決算額
						19,199千円	
						実績値	
						3994人	
						進捗状況	
						4	

	健診区分	回数	受診者数(人)		計(人)
			該当者	非該当者	
特定健診	集団	69	2,948	42	3,354
	個別		354	10	
後期高齢者健診	集団	69	579	0	632
	個別		53	0	
その他の健診	集団	69	8		8
	個別		0		

事業に対する評価・課題等	評価
昨年同様、受診率は低い状況である。今年度は特に、個別健診の受診者が減っている。集団健診に比べて健診料が2,000円で、割高感があるのではないかと考えられる。	
新聞に受診勧奨広告を入れた後は100名程度の申込みあり、有効な周知方法であったと考える。	
若い時期からの生活習慣病予防のためにも、今後も対象を絞った受診勧奨など効果的な周知方法を検討する。また、未受診者の健診への価値観を変えていくことが重要と思われる。	
一日で全てのがん検診を受けられる日は受診者が多いことから、がん検診とのセット検診を増やすことが有効と考える。	
11月末に40～64歳の特定健診未受診者に、受診券を送付後、受診者が増加した。しかし、受診できる期間が農水産業の繁忙の時期でもあったため、受診期間の検討や未受診者への受診券送付時期を検討する必要がある。	

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成22年度予定	
①特定健診についての周知徹底 ・地区に応じた受診勧奨対策(健康教育・ポスター掲示等)を計画的に実施する。 ・新聞に受診勧奨広告を年2回折り込む。ケーブルテレビを活用し、健診PRを行う。 ・年度末年齢40歳に受診券を同封した受診勧奨通知を行う。 ・未受診者への受診券の送付時期を、各地区の健診実施状況等に合わせて実施する。	予算額 28,420千円
②魅力ある特定健診の設定 ・年度末年齢40歳の自己負担額を無料とする。 ・集団健診においてがん検診とのセット検診日を増やす	目標値
③利用しやすい個別健診の設定 ・自己負担額を集団健診と同額の1,000円にする。 ・実施期間拡充、2月末までにする。	5000人

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	94回		①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん予防重点健康教育及びがん検診の実施に関し必要な事項を定め、がんの予防及び早期発見に推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させる。</p> <p><対象> 胃がん・肺がん・大腸がん検診:40歳以上の者 子宮がん検診:20歳以上の女性 乳がん検診:40歳以上の女性 前立腺がん検診:40歳以上の男性</p>							
平成21年度実績							
がん検診別受診状況		※胃がん検診(胃カメラ)受診数:465人は含まず。		集団検診実施回数		決算額	
	受診者(人)	受診率(%)		回数		50,576千円	
胃がん	2,883	8.4		胃がん	69		実績値
肺CTがん	879	2.8		肺CTがん	17		10.80%
肺CRがん	2,030	8.6		肺CRがん	65		進捗状況
大腸がん	3,705	11.3		大腸がん	69		
前立腺がん	1,332	10.4		前立腺がん	69		
子宮頸がん	2,087	16.0		子宮頸がん	53		
乳がん	2,224	18.4		乳がん	41		5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・集団検診では、肺がんCR検診以外は受診者が増加した。 ・個別検診では胃がん検診(胃カメラ)、子宮頸がん検診の受診者は増加している。 ・子宮頸がん・乳がんについては、地区組織への健康教育や乳幼児健診での若い母親への受診勧奨、無料クーポン券、ピンクリボンの普及活動を通じ若い世代の関心が高まり受診者が増えたと考える。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・1日で全てのがん検診を受けられる日を設定する。 ・地区に応じた受診日程を設定する。(休日を含む全曜日で実施) ・利用しやすい個別検診として特定健診と同様、実施期間の拡充を図る。 ・乳幼児健診や子育て支援事業等で子宮頸がん検診の受診勧奨を行う。 ・がん予防月間と合わせてパネル展示やケーブルテレビによるPRを行う。 						予算額	
						58,000千円	
						目標値	
						50%	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	42自治会	30自治会	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。							
平成21年度実績							
集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 44自治会で実施。出席者数764人。							決算額
							—
							実績値
							44自治会
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
目標値を大きく上回り、実績をあげている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成22年度予定							
昨年と同様に、各自治会で医療懇談会を開催していく。 目標値50自治会、800人。							予算額
							—
							目標値
							50自治会

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指して機能している。</p> <p>○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成21年度実績							
○新病院開院後「外来化学療法室」が設置され、従来各科の外来処置室で行っていた通院による化学療法について、専用のエリアで実施している。						決算額	
○セカンドオピニオン外来(木曜日・午後、事前予約制)を設けることにより、患者が他施設で受けた診断や治療法について、従来よりも相談しやすい体制を整えている。						6,373千円	
○医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。						実績値	
面接相談(訪問等を含む) 741件						左記のとおり	
電話相談 550件						進捗状況	
○年3回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。						5	
○愛媛県がん診療連携協議会「緩和ケア研修会」を実施し、関係医療機関相互の連携を図った。							
事業に対する評価・課題等							
○退院、転院調整や在宅ケアに関する相談など個々の患者に応じたがん治療支援が実施できた。また、市民を対象とした講演会等も開催して多くの参加を得ることができ、がん拠点病院からの情報発信を行うことができた。							
○年々がんに関する情報が専門化しており、患者及びスタッフのスキルアップが必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—	
平成22年度予定							
継続して機能の充実を図る。						予算額	
						—	
						目標値	
						—	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。							
平成21年度実績							
新病院の開院に伴って施設面でも改善され、ドックエリアには、2日ドック用にバス・トイレ付きの個室8室を完備するとともに、専用の内科診察室、検査の合間や食事の際に利用可能なラウンジを設けるなど、受診者の利便性も向上している。また、2日ドック対象者については、個別に健康管理指導をおこなっている。 【ドック受診者】 1日ドック：777名 2日ドック：587名 (脳ドック内数：75名) 受診者数計：1,364名(男性 634名、女性 730名)						決算額	—
						実績値	左記のとおり
						進捗状況	5
						事業に対する評価・課題等	
						○ドック最終日に集団指導を実施し、個人個人にあった健康管理に役立っている。 ○各種検査や診察を通常の外来診療に組み込んで実施しているため、人員体制、設備的な側面から1日あたりの受け入れ人数を増員できない現状がある。	
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成22年度予定							
継続して実施						予算額	—
						目標値	—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[2] がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	94回		①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん予防重点健康教育及びがん検診の実施に関し必要な事項を定め、がんの予防及び早期発見に推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させる。</p> <p><対象> 胃がん・肺がん・大腸がん検診:40歳以上の者 子宮がん検診:20歳以上の女性 乳がん検診:40歳以上の女性 前立腺がん検診:40歳以上の男性</p>							
平成21年度実績							
がん検診別受診状況 ※胃がん検診(胃カメラ)受診数:465人は含まず。				集団検診実施回数		決算額	
	受診者(人)	受診率(%)			回数	50,576千円	
胃がん	2,883	8.4		胃がん	69	実績値	
肺CTがん	879	2.8		肺CTがん	17	10.80%	
肺CRがん	2,030	8.6		肺CRがん	65	進捗状況	
大腸がん	3,705	11.3		大腸がん	69	5	
前立腺がん	1,332	10.4		前立腺がん	69		
子宮頸がん	2,087	16.0		子宮頸がん	53		
乳がん	2,224	18.4		乳がん	41		
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・集団検診では、肺がんCR検診以外は受診者が増加した。 ・個別検診では胃がん検診(胃カメラ)、子宮頸がん検診の受診者は増加している。 ・子宮頸がん・乳がんについては、地区組織への健康教育や乳幼児健診での若い母親への受診勧奨、無料クーポン券、ピンクリボンの普及活動を通じ若い世代の関心が高まり受診者が増えたと考える。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・1日で全てのがん検診を受けられる日を設定する。 ・地区に応じた受診日程を設定する。(休日を含む全曜日で実施) ・利用しやすい個別検診として特定健診と同様、実施期間の拡充を図る。 ・乳幼児健診や子育て支援事業等で子宮頸がん検診の受診勧奨を行う。 ・がん予防月間と合わせてパネル展示やケーブルテレビによるPRを行う。 						予算額	
						58,000千円	
						目標値	
		50%					

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[2] がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指して機能している。</p> <p>○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成21年度実績							
○新病院開院後「外来化学療法室」が設置され、従来各科の外来処置室で行っていた通院による化学療法について、専用のエリアで実施している。 ○セカンドオピニオン外来(木曜日・午後、事前予約制)を設けることにより、患者が他施設で受けた診断や治療法について、従来よりも相談しやすい体制を整えている。 ○医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 741件 電話相談 550件 ○年3回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 ○愛媛県がん診療連携協議会「緩和ケア研修会」を実施し、関係医療機関相互の連携を図った。						決算額	
						6,373千円	
						実績値	
						左記のとおり	
						進捗状況	
						—	
事業に対する評価・課題等							
○退院、転院調整や在宅ケアに関する相談など個々の患者に応じたがん治療支援が実施できた。また、市民を対象とした講演会等も開催して多くの参加を得ることができ、がん拠点病院からの情報発信を行うことができた。 ○年々がんに関する情報が専門化しており、患者及びスタッフのスキルアップが必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—	
平成22年度予定							
継続して機能の充実を図る。						予算額	
						—	
						目標値	
						—	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	①充実		●	③新規	
事業の概要								
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりを行います。</p> <p>現在医師4名で不足している状況を改善するため、医師(所長)を5名体制とします。それにより各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させるものです。</p>								
平成21年度実績								
<p>平成19年度末の医師1名の退職と平成20年度の医師1名の採用で、兼務する診療所に変更があったものの、4名体制での運営となっています。なお、地理的要因等の関係で1名の医師が3診療所を兼務する形となっています。</p> <p>医師の募集状況は、市ホームページ及び愛媛大学医学部ホームページへの掲載を継続しています。また、愛媛県への自治医科大学卒業医師の配置要望を行っていますが、限られた医師定員で配置されるには至っていません。</p> <p>医師の応募状況は、メール等による問合せが年間1～2件ありました。その中で年度末(3月)に紹介のあった件については、現地視察や赴任に係る諸条件等の問い合わせ・協議等を継続し、赴任に向けての協議を進めています。</p>							決算額	0千円
							実績値	9施設4医師
							進捗状況	3
事業に対する評価・課題等								
<p>全国的に医師数が不足している状況の中で、宇和島市においても市立吉田病院、市立津島病院も医師募集を行なっている現状もあり、診療所として非常に厳しい状況にあります。</p> <p>現在の募集条件(給与の増額など)を変更することは財政上厳しく、現状維持での募集が精一杯の状況です。</p> <p>勤務地の情報(地域、診療所、設備、行政等との連携)を広く周知し、医師赴任まで繋げる必要があります。また、赴任されてから診療所・医師へのサポートを含め、長期間安定して勤務できる体制を構築することも今後の課題の一つです。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成22年度予定								
<p>昨年度末、医師から問い合わせ(全国自治体病院協議会を通じて)等があり、交渉等の結果、本年7月から遊子診療所に赴任していただくこととなりました。それにより、宇和島市国民健康保険直営診療所は、9施設5医師体制となりました。</p> <p>医師募集については、市HPや愛媛大学医学部HP等への掲載をとりやめました。</p> <p>今後は、新任医師をはじめ、診療所・医師へのサポートを実施し、長期間安定した診療体制を維持していきます。</p>							予算額	0千円
							目標値	1

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課			①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所で診療船うわじまを維持管理(運航等)を行い、離島での医師の兼任管理を実施し、地域医療の充実を図るものです。また、兼任管理中における緊急搬送等も行い、地域住民の生命の安全を確保するものです。</p>							
平成21年度実績							
<p>平成21年度は、戸島診療所木村所長の嘉島診療所兼任管理で月曜日、水曜日及び金曜日の午前に運航を実施しています。毎年度、定期的に年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行なっています。</p>							決算額
							4,392千円
							実績値
							—
							進捗状況
							1
事業に対する評価・課題等							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所はへき地・離島に設置してあるため、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動に民間交通機関が利用できないため、公用車・診療船による兼任管理を実施する必要があります。特に離島においては、定期連絡船の運航数、運航時間、台風災害時等の運行停止等があり、診療船の果たす役割は非常に大きなものがあります。</p> <p>今年度は九島診療所の医師赴任により、兼任管理の一部変更を行ないました。それに伴い運航日程の変更があり、診療船の年間運航日数は減少しました。現在は、下波(柿の浦)から出発し、戸島と嘉島の医師兼務の移送を行っています。しかし、今後の医師の配置状況によっては、運航区間の変更が考えられます。そのため、診療所所長(医師)との協力体制の確立と診療船の効率運用により、地域医療の安定的な提供に努める必要があります。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
<p>現在のところ、診療所所長(医師)の異動がないため、昨年度と同様に兼任管理に伴う診療船運航を実施します。また、年2回の定期ドックも実施します。</p> <p>医師の異動により、診療日程の変更、兼任管理の変更を伴えば、適宜、実情に即して対応します。</p>							予算額
							4,977千円
							目標値
							—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
病院と診療所の連携強化	保険健康課			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割の明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供します。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介します。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介します。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図ります。</p>							
平成21年度実績							
<p>診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者さんを診療所医師が市立宇和島病院で診ることができます。</p> <p>診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供しています。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っています。)</p>						決算額	0千円
						実績値	—
						進捗状況	3
事業に対する評価・課題等							
<p>それぞれの事例により対応等はことなるが、</p> <p>①離島においては、患者の移送手段が限定されてしまうこと。</p> <p>②診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合があること。</p> <p>③診療所医師不在時に患者への対応ができない場合があること。</p> <p>などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられること。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成22年度予定							
前年度と同様。						予算額	0千円
						目標値	—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化するとともに、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察・治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>							
平成21年度実績							
<p>○「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介で入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。</p> <p>○診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)</p>						決算額	-
						実績値	-
						進捗状況	3
事業に対する評価・課題等							
<p>それぞれの事例により対応等は異なるが、</p> <p>①離島においては、患者の移送手段が限定されてしまうこと。</p> <p>②診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合があること。</p> <p>③診療所医師不在時に患者への対応ができない場合があること。</p> <p>などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成22年度予定							
前年度と同様。						予算額	-
						目標値	-

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
ヘリポートの設置	病院局 (宇和島病院)	1施設	1施設	①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
<p>災害拠点病院として、災害時等の緊急搬送ができるよう屋上ヘリポートを設置しており、発着回数等から推測して、飛行場外離着陸場の位置づけで運用している。設備的には、初めて着陸するパイロットにも見やすさと安心感を与えるため、見やすい角度に照明装置を設置し、上空から目につきやすいカラーリングを施すなど、安全面を考慮したものとなっている。また本体部分は、劣化を抑えるためアルミ化しており、コスト優先ではなく安全優先に配慮されている。なお、運用によっては、離島や山岳地帯からの搬送等も可能であり、県防災航空事務所と日頃より訓練等により、運用確認を行っている。</p>							
平成21年度実績							
<p>救急搬送患者発生時のフローについて、宇和島消防本部、愛媛県防災航空隊と協議を行い、確定した。</p> <p>○搬送件数3件</p>							決算額
							—
							実績値
							3件
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
運用フローが決定し、患者搬送も行い、目標は達成したと思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成22年度予定							
ヘリポート以外での地域医療の充実について、新たな事業を検討する必要がある。							予算額
							—
							目標値
							—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—